

4 秋保大滝周辺エリアの整備の方向性

4-1 新たなコンセプト

様々な課題に対応し、「**来訪者がより長く滞在し繰り返し訪れたいエリア**」へと発展させるため、その整備に必要なエリアのコンセプトを設定する。また、各ゾーンが担うべき役割及び位置づけについても体系化する。

各ゾーンが連携する **連**

回遊性の向上を図るため、各ゾーンを連続的につなぐ動線を整備し、目的地間の移動が途切れない空間構成とする。サインや情報板など案内を充実させ、「見る」だけでなく「歩く」「目的地へ向かう」過程そのものが各ゾーンの理解や体験につながる仕掛けを設ける。自然豊かな憩いの空間と活用可能な資源を活かし、休憩・滞在の場を充実させて滞在価値を高める。

誰もが快適に利用できる **快**

バリアフリー対応を進め、既存経路の段差や勾配など身体的負担を解消し、誰もが安全・快適に利用できる環境を整える。駐車場は歩行者動線を明確化し、歩車分離や横断部の改善で安全性を確保する。あわせて、これまで不足していた外国人向けの多言語案内や大型荷物預かりを整備し、利便性を向上させるとともに、トイレの衛生環境等の受入環境の充実を図る。

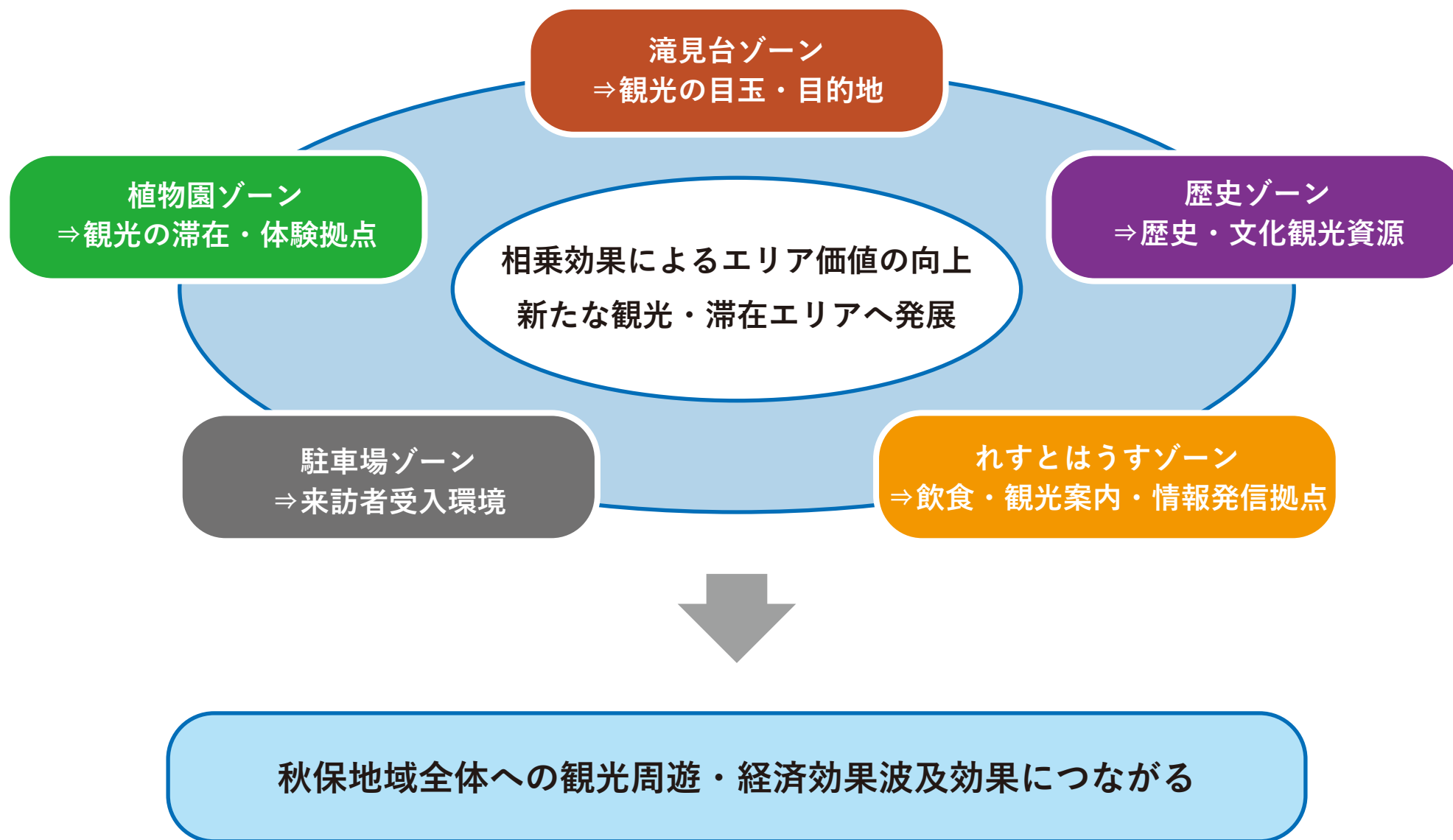
自然・歴史を生かした魅力を楽しむ **楽**

十分な活用が図られていなかった景勝地・植物などの自然資源を掘り起こし、散策・遊び・学びを組み合わせたアクティビティや体験型プログラムを創出する。あわせて、西光寺をはじめ周辺に息づく歴史・信仰の背景を理解できる解説・展示の仕組みを整え、滞在の動機を広げる。さらに滝見台や植物園等の磨き上げや催事に活用できる空間再整備等により、通年での集客や賑わい創出を可能とし、エリアの魅力を向上させる。

秋保地域全体の周遊につなげる **周**

利用者にやさしい誘導サインや情報案内板などの情報提供機能を強化して、秋保地域内の回遊先を分かりやすく提示する。あわせて、他エリアとの往來の課題を踏まえた将来的な二次交通の拡充を検討し、それを見据え、乗降・待機空間などの十分なスペースを確保した駐車場を整備する。来訪者の周遊に繋がるコースを提示し、地域全体へ観光・滞在の波及を図る。

4-2 各ゾーンが担うべき役割及び位置づけ

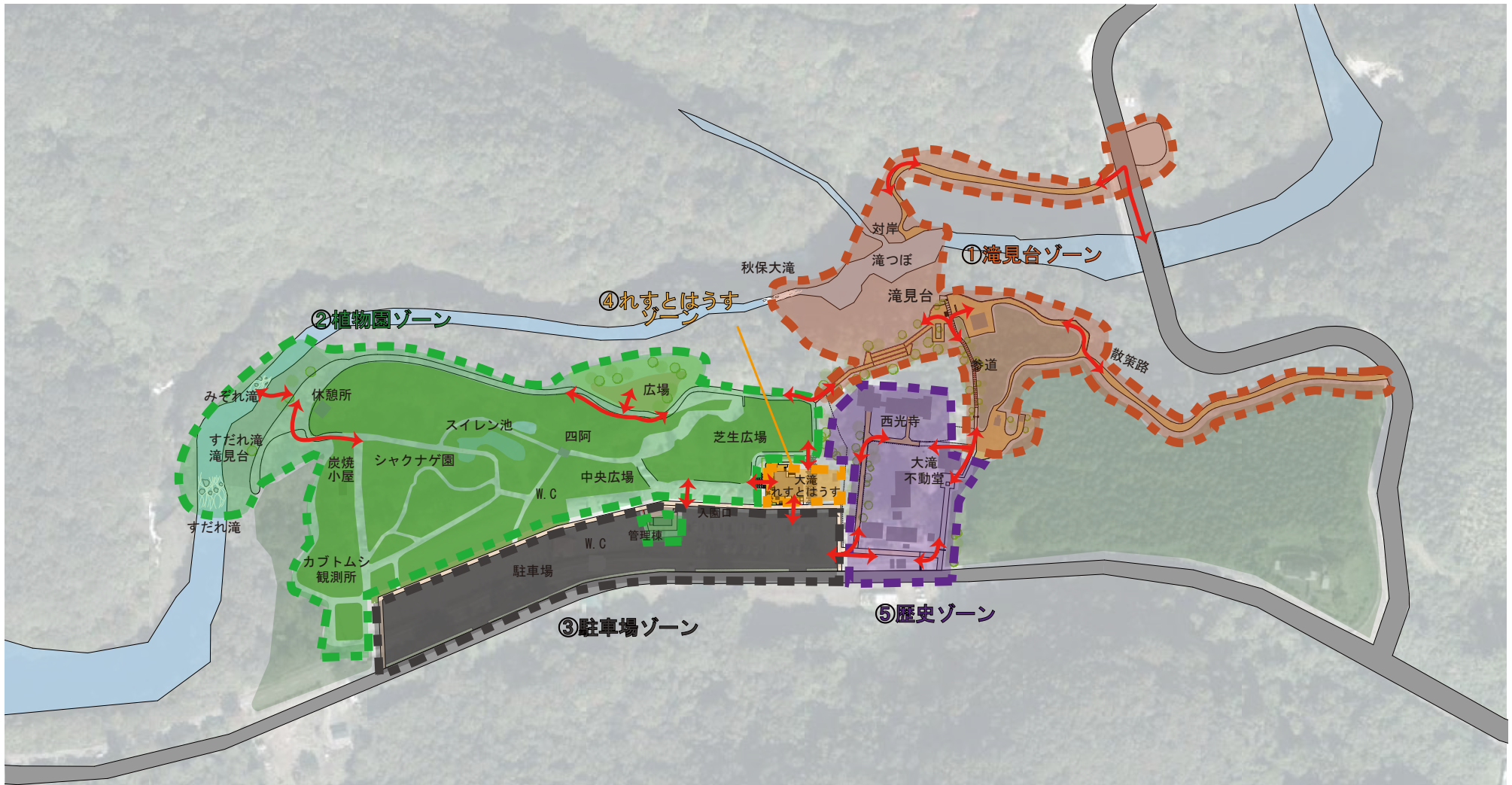


4-3 対応方針

新たなコンセプトに基づき、秋保大滝周辺エリアを構成する各ゾーンの対応方針及び整備イメージを示す。エリア全体としてはゾーン間の移動がしやすい空間整備や湯元地区等からの二次交通の導入、インバウンド対応も含めたサイン整備等に取り組む。また、各ゾーンの対応方針及び整備イメージは次頁以降に示す。

秋保大滝周辺エリア全体

↔ 目指すべき回遊動線



① 滝見台ゾーン

● 対応方針

課題① バリアフリー対応・移動の負担 **快**

- 滝見台への歩きやすい緩やかな勾配の回遊経路を整備する。
- 滝見台への既存経路の手摺等の設備の見直しや、休憩用ベンチの設置等を行う。

課題② 滝の観覧環境 **連 快 楽**

- 滝見台の迫り出し等により眺望が向上するよう整備する。
- 人物と滝が同じ画角に収まる撮影場所を設ける。
- 滝の視認性が高まる手摺・床等を設置する。
- 多人数の同時観賞等を可能とするため、滝見スペースを拡張する。
- 夜間照明や案内看板の整備を検討する。

課題③ 他ゾーンへの回遊性 **連**

- 滝見台から植物園内芝生広場を接続する経路を設ける。

課題④ 滝つぼまでの移動 **快**

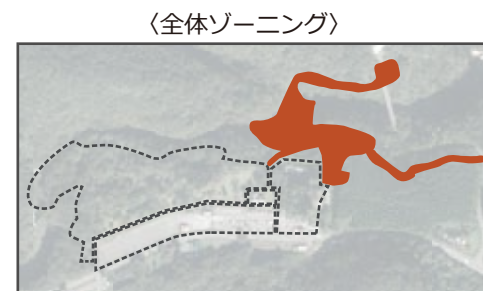
- 滝つぼへの歩行しやすい散策路の整備等を検討する。

● 効果

- ・ バリアフリー化と移動の負荷軽減により、これまで来訪が難しかった高齢者や車いす利用者等の来訪が容易となり、利用層の拡大が図られる。
- ・ 多人数対応や休憩機能の充実により滞在しやすい環境が形成され、滝見台における滞在時間の延長が実現される。
- ・ 滝見台と植物園を繋ぐ回遊動線の形成により、来訪者の行動が滝の観賞のみで完結することを防ぎ、エリア全体の回遊性向上と滞在時間の拡大に寄与する。

● 整備イメージ

- : 本計画において優先的に整備を行う項目
- : 将来の状況や詳細設計の検討結果に基づき導入を検討する項目





滝見台イメージ

②植物園ゾーン

●対応方針

課題① 施設の魅力 楽

- 四季ごとに楽しめるテーマガーデンや四季イベント、花壇のライトアップなど、観光要素を取り入れた植物展示やフォトスポットの設置を検討する。
- 自然遊びや里山体験ができる体験エリアや学びエリアなど、テーマを持った展示エリアの整備を検討する。

課題② 施設の利便性・快適性 快 楽

- 主要な回遊動線となる園路をバリアフリー化するほか、誰もが使いやすいトイレ等の整備を検討する。
- 園内の眺望スポットごとに、ゆったり眺められる休憩スペースを確保する。
- マルシェやイベント等の利用に対応した電気・給排水設備の整備を検討する。
- 1年を通して利用できる場とするため体験・展示スペースや物販等の機能を備えた滞在の拠点施設の整備を検討する。

課題③ 広報や情報発信 連 楽

- 園内のサインや案内板等により見どころの案内やこどもの学び・遊びに繋がる情報発信を行う。

課題④ 周辺施設との一体性 連

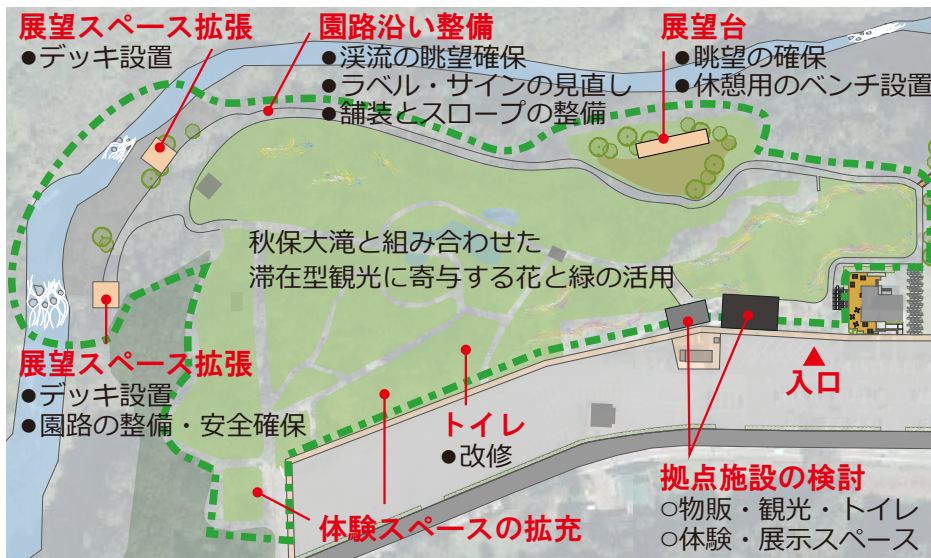
- 滝見台からの動線を確保するほか、れすとはうすと一体で利用できる・立ち寄りやすい開放的な空間を整備する。

課題⑤ みぞれ滝・すだれ滝などの溪流沿い資源の活用 楽

- みぞれ滝・すだれ滝の展望スペースを整備し、ゆとりある観光動線を確保する。
- 溪流沿いの眺望を確保するとともに、せせらぎを感じられる広場や親水スポットなど新たな利活用空間の整備を検討する。

●整備イメージ

- : 本計画において優先的に整備を行う項目
- : 将来の状況や詳細設計の検討結果に基づき導入を検討する項目



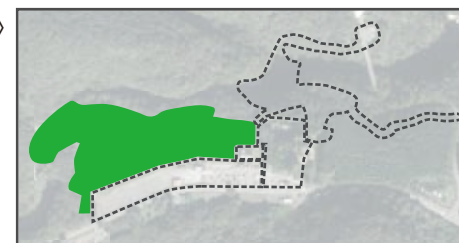
●効果

- ・すだれ滝など溪流沿いの資源の活用やテーマガーデンの検討など、観光要素を積極的に導入し、「見たい施設」とすることで、エリア全体の回遊性向上と滞在時間の拡大に寄与する。
- ・自然を生かした体験プログラムの充実や園路のバリアフリー化などにより、賑わい創出や利用者層の拡大が図られる。
- ・魅力的な展示や休憩機能の充実により、滞在しやすい環境が形成され、植物園における滞在時間の延長が実現される。



植物園展示イメージ

(全体ゾーニング)

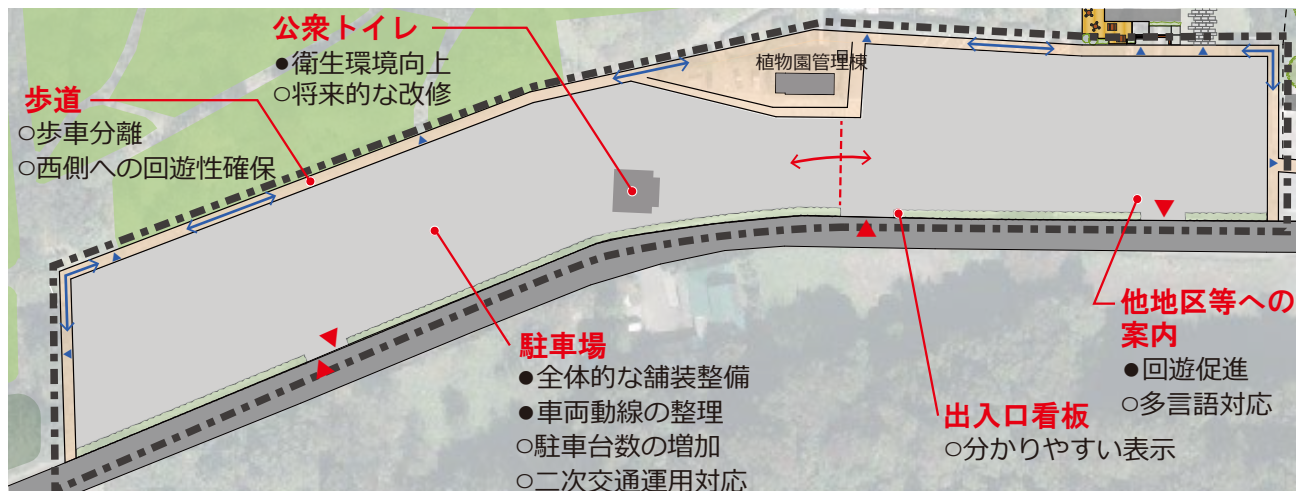




植物園イメージ

③ 駐車場ゾーン

● 整備イメージ



● 対応方針

課題① 砂利敷駐車場の利便性・利用性 快 楽

- ➔ 砂利敷駐車場について舗装整備を行う。
- ➔ 閑散期のイベントの開催を検討する。

課題② 車両動線 快 周

- ➔ 駐車場計画を整理し、混雑時のスムーズな車両動線の実現と駐車台数の増加を検討する。
- ➔ 二次交通のバス運用を想定した駐車スペースを検討する。

課題③ 大滝公衆トイレの衛生水準 快

- ➔ 繁忙期の清掃回数を増やすなど衛生環境の向上を図るとともに、将来的な改修等を検討する。

課題④ 他地区等への案内機能 連 周

- ➔ 秋保地域の他地区等への観光を促す案内を新たに設ける。

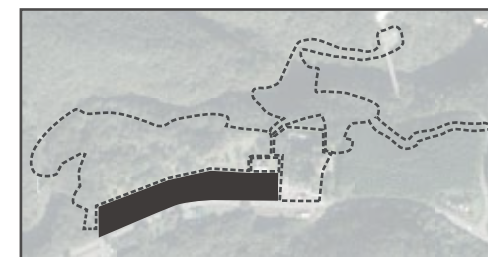
課題⑤ 歩行者の安全性 快

- ➔ 車道と歩道の明確な分離を検討する。

● 効果

- ・ 駐車場区画の見直しと動線整理により、繁忙期における混雑の緩和と安全で分かりやすい受入環境が形成され、来訪者の利便性が大きく向上する。
- ・ 二次交通により秋保温泉と秋保大滝周辺エリアの移動が円滑になり、インバウンドを含む多様な利用者の来訪が促進される。
- ・ モデル経路の設定などの案内機能強化により、来訪者が様々な場所につながる動線が形成されるなど、回遊範囲の拡大が実現される。

〈全体ゾーニング〉





駐車場イメージ

④れすとはうすゾーン

●対応方針

課題① トイレの利用 **快**

→24 時間利用等に対応できるようレイアウトを変更する。

課題② 外部からの視認性 **連**

→飲食店としての賑わいが外部へ伝わるよう、藤棚の撤去、ガラス間仕切り、看板等の設置を行う。

課題③ 多人数に対応する滞在環境及び飲食機能 **連 楽**

→厨房を見直し座席数を増やすとともに提供や物販エリアへのスペース、動線を確保する。
→屋外テラスを植物園側に設けゾーン間の繋がりを高め、開放的な飲食空間を実現する。

課題④ 情報発信機能 **連 周**

→利用者のニーズに応じ、双方向的な情報発信が可能であるデジタルサイネージを活用する。

課題⑤ 荷物預かり機能 **快**

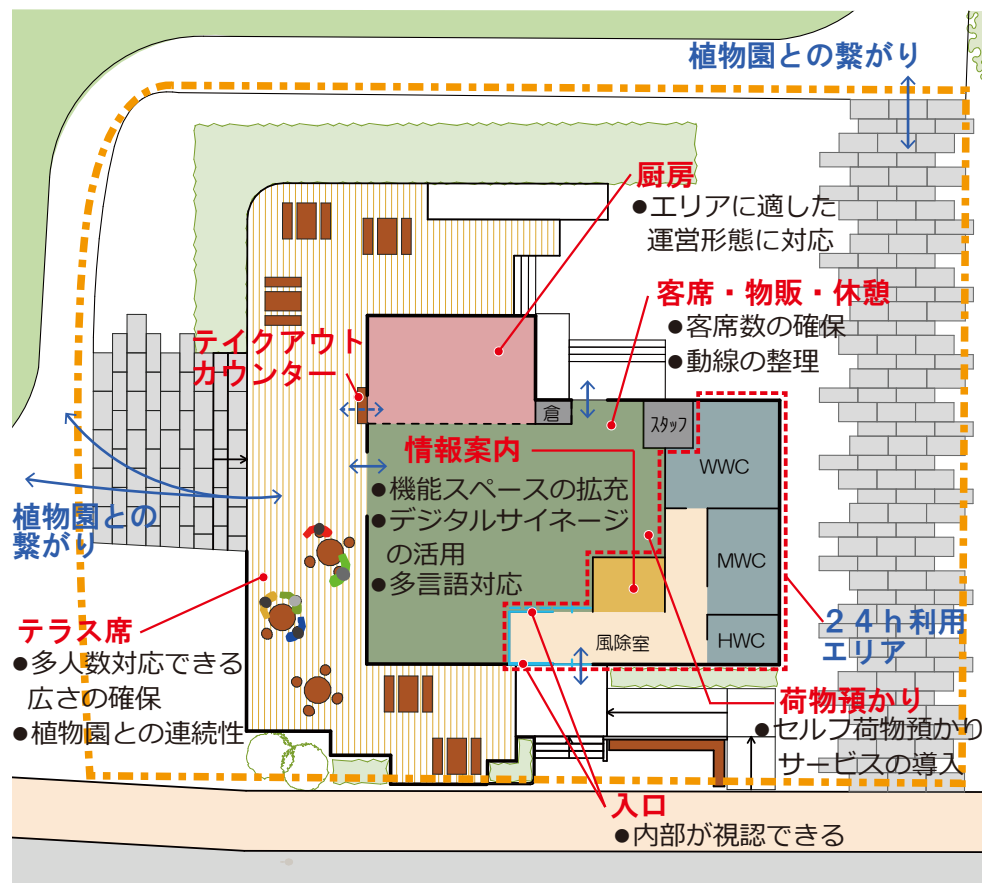
→利用者が自身で預け入れできる荷物預かりサービスを導入する。

●効果

- ・動線の見直しとトイレ・客席等の配置の改善により、快適に利用できる滞在環境が形成され、来訪者の満足度向上につながる。
- ・屋外テラス席や開放的な飲食空間の整備により、休憩・滞在機能が充実し、滞在時間の延長と消費機会の拡大が期待される。
- ・情報発信機能が充実し、来訪者の行動選択が円滑化されることで、秋保地域内の回遊性向上に寄与する。

●整備イメージ

- : 本計画において優先的に整備を行う項目
- : 将来の状況や詳細設計の検討結果に基づき導入を検討する項目





れすとはうすイメージ

⑤歴史ゾーン

●対応方針

課題① 案内・歴史的説明 楽

- ➔西光寺や大滝不動堂への案内サインや歴史・文化の情報説明板の設置、拡充を検討する。
- ➔有形文化財として登録された大滝不動堂を資源とした新たな観光プログラムの作成を検討する。

課題② 西側ゾーンへの誘導機能 連

- ➔西側ゾーンへの誘導や滝見台ゾーンを経由する経路の案内等を設置し、エリア内の回遊を促進させる。

●効果

- ・案内サインや情報説明板の整備により、西光寺および大滝不動堂の歴史・文化的背景が来訪者に伝わり、参拝・散策の満足度の向上につながる。
- ・有形文化財を活用した観光プログラムの導入により、滝の観賞にとどまらない文化的な体験が加わり、エリアにおける観光体験の質の向上が期待される。



歴史ゾーンを象徴とする大滝不動堂



案内板の設置イメージ

©sight

●整備イメージ

●: 本計画において優先的に整備を行う項目

○: 将来の状況や詳細設計の検討結果に基づき導入を検討する項目



〈全体ゾーニング〉





参考1 検討経過

計画の策定にあたり、地域住民や観光関連事業者によるワークショップや、だれでも参加可能な説明会を開催し、様々な意見を聴取した。

■令和7年11月25日 第1回ワークショップ (せんだい秋保文化の里センター 参加者5名)

～主な意見～

- ・滝見台までの階段途中の休憩スペース等が必要
- ・すだれ滝やみぞれ滝までの回遊経路整備を希望
- ・手荷物預かり所が必要



■令和7年11月29日 第1回地域説明会 (秋保総合支所 参加者15名)

～主な意見～

- ・世界に発信できる滝見台の魅力が必要である一方、安全性の確保も必要
- ・駐車場の分かりやすい案内看板が必要
- ・植物園の複数入り口の設置を希望



■令和7年11月27日 第2回ワークショップ (せんだい秋保文化の里センター 参加者11名)

～主な意見～

- ・何度も来たくくなるような滝見台整備を希望
- ・れすとはうすから植物園への入り口を希望
- ・大人数が飲食できる場所が必要



■令和8年2月28日 第2回地域説明会 (秋保市民センター 参加者20名)

～主な意見～

- ・マルシェ等の賑わい創出イベントの定期開催を希望
- ・観光客が少ない冬季の誘客の仕組みが必要
- ・観光客増加を見据えた渋滞対策が必要



■秋保大滝・二口エリア観光施設等管理運営方針策定業務(R2年度)

現状分析と課題抽出、コンセプト、魅力アップに向けた管理運営方針、奥秋保エリアの今後の提案 など

■秋保大滝・二口エリア観光施設等民間活用検討に向けた基礎調査業務(R4年度)

民間活力導入に向けた方針の検討、民間企業へのヒアリング調査、事例調査 など

■秋保大滝周辺エリア観光施設等FS調査業務(R5年度)

調査対象エリア全体の課題、民間活力導入による事業スキームの検討、環境整備による更なる賑わい創出に向けた検討、秋保大滝周辺エリア構想 など

■秋保管内(大滝地区)測量調査(R6年度)

地形地質概要、調査方法、調査結果、考察及びまとめ など

■秋保大滝周辺エリアの来訪者受入環境のあり方検討に関する基礎調査(R6年度)

法規制等調査、権利関係調査、既存インフラ調査、環境整備を行う上での障害・課題等調査 など

【参考】「秋保大滝周辺エリア」魅力・回遊性向上に向けた取り組みの方向性(R7年度)

範囲と特徴、現状と課題、目指す姿、整備方針 など

「秋保大滝周辺エリア」魅力・回遊性向上に向けた整備に係る基本計画

令和8年3月

仙台市文化観光局観光交流部観光戦略課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3丁目7番1号

TEL（直通）：022-214-8032 FAX：022-214-8316